

「楽しみ」の位置づけ

—SD法による印象評定の実施—

○白坂緋里¹・長谷和久²

(¹山口大学大学院教育学研究科・²山口大学教育学部)

問題と目的

「楽しみにする」とは将来に期待してそのことを愉快地思うことを指す(角川類語新辞典, 1981)。白坂・長谷(2024)では、楽しみ印象について幸せ・心の支え・生きがいと相対比較という観点で検討した。その結果、楽しみは人生の意味・価値因子と前向きに取り組む因子の得点が他よりも相対的に低く、また、より軽いニュアンスで「楽しみ」は用いられていることが示唆された。

白坂・長谷(2024)ではポジティブな印象の言葉の中のみで相対比較をしたが、より表現を増やして再検討する必要があると思われる。本研究では、楽しみを含む複数の表現について印象評定を行い、楽しみ位置づけについて検討する。

予備調査

言葉の印象評定を行う際に尋ねる項目として使用する形容詞対の作成のため、形容詞・形容動詞を収集した。

方法(予備調査)

参加者 オンライン調査会社に登録するWEBモニタ300名(Mage=45.26, SDage=16.50)。

手続き 楽しみを含む20語の表現について、言葉から連想されるイメージを尋ねた。「〇〇とは——」に続く文章を自由記述にて回答を求めた。

方法(本調査)

参加者 オンライン調査会社に登録するWEBモニタのうち、注意チェック項目をパスした107名(Mage=42.83, SDage=17.76)を分析対象とした。

手続き 予備調査の結果から、12対の形容詞・形容動詞の両極尺度を作成した。楽しみを含む15種類の表現×12対の形容詞・形容動詞対の質問紙を作成し、回答を求めた。評価を求めた15の表現の中には「希望」のようにポジティブな印象が持たれるものだけでなく、「自己満足」のようにネガティブな印象が持たれる表現も含まれていた。

結果(本調査)

15種類の表現の印象評定について分析するた

めに、主成分分析を用いた構造分析(プロマックス回転)を行った。

主成分分析の固有値は順に、5.79, 2.98, 1.08で、固有値が1以上の主成分を採択すると3種類の主成分を想定することが妥当であると示された。主成分負荷量は表1に示す。第1主成分を「印象的な」($\alpha=0.88$)、第2主成分を「身近な」($\alpha=0.72$)、第3主成分を「閉塞感」($\alpha=0.80$)と命名した。

第1・2・3主成分の負荷量をプロットした結果を図1に示す。図1から分かるように、「楽しみ」は「身近な」主成分と「印象的な」主成分では中間地点に、「閉塞感」主成分では最も主成分得点が低い位置に位置付けられた。

表1. 印象評定に関わる主成分負荷量の結果

項目	Factor1	Factor2	Factor3
⑫一時的な・長期的な	1.068	.241	-.070
⑪浅い・深い	1.022	.117	-.209
③早い・遅い	.944	.132	.194
⑦軽い・重い	.901	-.081	.105
②珍しい・ありふれた	-.788	.162	.046
⑩自分だけの・共同の	-.256	-.890	-.053
⑧未来・過去	-.241	.728	.069
⑨近い・遠い	.476	-.510	.342
⑥すっきり・もやもや	.132	.038	.926
④自由な・窮屈な	.098	-.228	.822
⑤健康な・不健康な	-.435	.130	.787
①新しい・古い	.078	.497	.650

図1. 印象評定に関わる主成分分析の結果

